

かわごえ 市議会だより

中核市・川越



スマイルシティ・川越



武蔵野の面影を残す川越（市内にて昨年撮影）

平成21年
第3回定例会

市長・副市長の給料が減額されます。

平成21年川越市議会第3回定例会を6月5日に開会し、25日間の会期中に、34件の案
件を審議し、6月29日閉会しました。

定例会の経過（6月）

- | | | | |
|-----|--|-----|--------------------------------------|
| 5日 | 議案15件提出。市庁舎建設特別委員会附議事件1件・請願1件採決。許可2件・選挙2件。決議1件採決。議席一部変更1件。 | 15日 | 一般質問。 |
| 9日 | 議案質疑。 | 16日 | 一般質問。 |
| 10日 | 議案質疑。議員提出議案1件採決。選任1件。 | 17日 | 一般質問。 |
| 12日 | 議会運営委員会。 | 18日 | 一般質問。選任1件。 |
| | | 19日 | 4常任委員会。 |
| | | 29日 | 議案15件採決。追加議案5件採決。選挙2件・推薦1件。意見書1件採決。等 |



目次

市長提出議案 (2)・(3)
請願 (3)
一般質問 (4)~(8)
議会情報 (8)
市庁舎建設特別委員会 (8)
決議・意見書 (9)
広域連合議会議員等 (9)
常任委員会構成 (10)・(11)
議会構成 (12)
議長・副議長 (12)
議会運営委員会等 (12)
議場コンサート (12)

区域略図



「芳野台三丁目」を画する区域

▽ 町の区域を新たに画すること（産業団地整備）
埼玉県企業局との共同事業による川越第二産業団地整備事業により公共施設の整備が完了し、新しく産業団地として整備された区域を新たに「芳野台三丁目」とするものです。

町の区域

今定例会では、二十件の議案が提案されました。主な概要は次のとおりです。

市長提出議案



芳野台3丁目地内

対象区域	面積 (㎡)	筆数 (筆)
大字鴨田の一部	190,317.03	33



条例

▽ 川越市長の在任の期数に関する条例
清新で活力ある市政の運営を確保するため、当条例を制定したものです。内容は市長の在任の期数について、三期を超えて在任しないよう努めるものです。

▽ 川越市市長及び副市長の給料の特例に関する条例
市長及び副市長の給料の月額を減額するため、当条例を制定したものです。

〈制定内容〉

市長の給料を2割減額 〈減額後〉月額 858,400円 ↑ (減額前 月額 1,073,000円)
副市長の給料を1割減額 〈減額後〉月額 806,400円 ↑ (減額前 月額 896,000円)

▽ 川越市条例の一部を改正する条例
地方税法等の一部改正に伴い、川越市条例の一部を改正したものです。

① 個人市民税の寄附金税額控除の対象を拡大。
〈改正の主な内容〉

② 個人市民税の住宅借入金等特別税額控除について、一定の場合に、所得税から控除しきれなかった額を個人市民税から控除。
③ 長期優良住宅の普及の促進に関する法律に規定する認定長期優良住宅に係る固定資産税の減額措置について、その申告手続に関し規定。
④ 地方税法等の一部改正に伴う規定の整理。

▽ 川越市保育所整備基金条例
財政的な援助を行うことにより保育所の新設等を促し、入所定員の増加を図ることで保育所の入所を待機している児童の解消を図るため、当条例を制定したものです。

〈制定内容〉
① 積立ての額
② 運用益金の処理
③ 基金の処分
④ 条例の有効期限
▽ 川越市長寿祝い金支給条例
川越市健康長寿奨励金支給条例を廃止し、高齢者に対して長寿祝い金を支給することにより、その長寿を祝福するため、当条例を制定したものです。

です。
〈祝い金の額〉
七十七歳 一万円
八十八歳 二万円
九十九歳 三万円
百歳以上 五万円

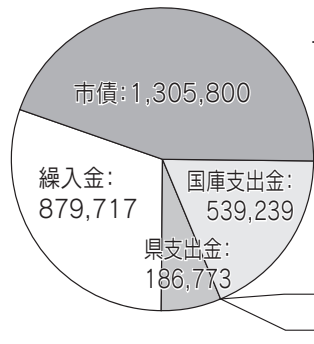
▽ 川越市産業観光館条例
市民の地域産業に関する理解を深めるとともに、市民と観光旅行者の交流を促進することにより地域の活性化を図る施設を設置するため、当条例を制定したものです。



産業観光館 (旧鏡山酒造跡地)

▽ 川越市下水道条例の一部を改正する条例
使用料を改定するため、当条例の一部を改正したものです。内容は、家事用その他の使用料を激変緩和措置として段階的に引き上げます。(平成二十一年十一月一日施行)

歳入



補正後一般会計予算総額
105,234,239
一般会計歳入歳出補正総額
2,914,239

使用料及び手数料: 1,270
分担金及び負担金: 1,440

▽ 平成二十一年度川越市
一般会計補正予算(第一号)

補正予算

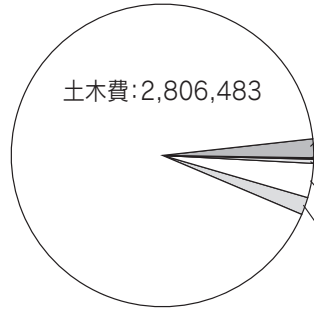
〈内容〉

公の施設名称	川越市再開発住宅店舗
指定管理者	埼玉県住宅供給公社
指定期間	平成21年10月1日から 平成26年3月31日まで

▽ 川越市再開発住宅店舗の
指定管理者の指定
指定管理者を指定すること
で、施設設置の目的を効果的
に達成できることから、議会
の議決を求めたものです。

指定管理者

歳出



民生費: -140,917
教育費: 61,345
労働費: 4,620
衛生費: 13,402
総務費: 111,830
商工費: 57,476

(単位: 千円)

〈工事概要〉

工事内容	工事延長 95.0m 幅員 12.0m
契約方法	一般競争入札
契約金額	202,240,500円
契約相手方	(株)富士ビー・エス関東支店
工期	本契約締結の日から 平成22年3月12日まで

▽ 市道2506号線道路改築工事(上部工) 請負契約
本工事により市道2506号線高架部が完成し、広域幹線道路網の整備を図ります。

請負契約



市長提出議案 議決結果一覧

〈平成21年 6月定例会の議案〉

◆町の区域を新たに画すること (産業団地整備)	原案可決
◆川越市長の在任の期数に関する条例	原案可決
◆川越市市長及び副市長の給料の特例に関する条例	原案可決
◆川越市税条例の一部を改正する条例	原案可決
◆川越市役所出張所設置条例及び川越市農業委員会の選挙による委員の選挙区及び各選挙区の定数条例の一部を改正する条例	原案可決
◆川越市長寿祝い金支給条例	原案可決
◆川越市保育所整備基金条例	原案可決
◆川越市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
◆川越市産業観光館条例	原案可決
◆川越市長期優良住宅の普及の促進に関する法律関係手数料条例	原案可決
◆川越市下水道条例の一部を改正する条例	原案可決
◆川越市再開発住宅店舗の指定管理者の指定	原案可決
◆市道2506号線道路改築工事(上部工) 請負契約	原案可決
◆訴えの提起	原案可決
◆平成21年度川越市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
(追加提出議案)	
◆監査委員の選任 2件	同意
◆固定資産評価員の選任	同意
◆人権擁護委員候補者の推薦 2件	同意

提訴

▽ 訴えの提起

仙波町四丁目市営住宅の明渡し等を求め、訴えを提起するため、議会の議決を求めたものです。

人事

五件の人事案件が追加提出され、左のとおり各人を委員に、それぞれ同意しました。
監査委員

固定資産評価員

人権擁護委員候補者

- 石川 良三郎
- 清水 京子
- 牛窪 佐千夫
- 天野 利彦
- 宮崎 節子

請願

▽ 後期高齢者医療制度の中止、廃止を求める意見書の提出を求める請願書

— 不採択 —

平成二十年第五回定例会に提出された請願です。

市政に関する 一般質問

今定例会では、26名の議員が一般質問を行いました。発言した全議員の質問及び答弁の一部要約を掲載(氏名下の数字は発言順番)しました。問と答の後には、各議員が今定例会で質問した表題(問)を掲載しています。質問した表題は、紙面の都合上、通告事項を要約したものとなっています。一般質問の詳細や、過去の質問は、会議録をご覧ください。

【会議録の閲覧について】

平成二十一年三月定例会の会議録は、図書館、出張所、議会ホームページ等で閲覧できます。今定例会の会議録については、図書館等では八月下旬頃から、議会ホームページ上では十月上旬頃から閲覧できます。○会議録をご覧ください。所

- ・市役所六階 議会事務局
- ・市役所東庁舎一階 情報公開窓口
- ・市立図書館(四館) 出張所(十箇所)

※印の答弁者は表示者以外の関係部長等の答弁も含まれています。



P川越21 石川 智明
社協は不正を隠していた

1

問一年間以上も不正の事実を隠していた社協に対し、二億円以上も補助金を交付している。不正発覚時の報告義務など、交付規則を見直すべきだ。

答福祉部長 川越市社会福祉協議会は本市の外郭団体であるが、一社会福祉法人として運営されており、本市とは別人格の法人である。別人格の一法人に対し、指導監督所

轄庁という立場を超え、条例等で報告義務を課することは、難しいと思われる。今後は、指導監督下にある社会福祉法人の指導

監査の際に、適正な事務の執行及び事故等が発生した場合の適正な処理・報告について指導してまいりたいと考えている。サービスクの二重発行校庭の芝生化



P川越21 倉嶋 美恵子
孤独死ゼロの地域づくり

2

問 昨年の市内孤独死は四十三名である。孤立者を出さない地域づくりをめざすべきだと考えるが、川越市はどのように取り組もうとしているのか。

答福祉部長 高齢者虐待や認知症高齢者等について関係機関の連携強化を目的に設置された「川越市要援護高齢者等支援ネットワーク会議」で、ひとり暮らし高齢者の孤独

死対策を検討したい。今後は個人情報保護等も踏まえ、民生委員児童委員協議会、自治会、老人クラブ、社会福祉協議会等の関係機関の連携を強化しながら、郵便物洗濯物の取込、屋内電気

の点灯等の高齢者の生活の変化に周囲が気づき支えあえる地域づくりを目指していきたい。孤独死ゼロを目指して



自民ク 関口 勇
交通問題と交通規制の評価

3

問 「つばさ」効果や「春まつり」による交通問題の影響と交通規制の実施について、交通円滑化の観点から、市はどのように評価しているか。

答総合政策部長 北部中心市街地では歩行者や休日の周辺駐車場の利用者が増えた。特に一番街では狭い歩道に観光客が集中し車道に溢れ、景観等に気をとられ危険な横断

や車と自転車との錯綜で危険と感じる状況もある。歩行者天国を実施した際、来街者はゆとりある町並み散策ができ、歩行者の安全確保に効果があった。普段以上の観光需要の交通が発生し、周辺部の渋滞は不可避な面もあったが、さらに効果的な車両誘導対策や駐車場対策を進める必要がある。公約の交通渋滞対策

この問題状況もさらに切実になっている。今後の整備方向は費用面、地域実情等を考慮し、総合的かつ慎重に検討したい。現在、駅改良には自治体が費用の大部分を負担する必要はあるが、鉄道事業者が中心となる駅整備の可能性も考えている。



自民ク 加藤 昇
新河岸川上流の整備

4

問 新河岸川上流の整備計画を県と検討会を設け、話し合っているとの事。市の考え方と計画内容を伺いたい。

答市長 国のかわまちづくり支援制度や県の新河岸川の水辺再生事業等の施策により、市と地域住民との連携の下、田谷堰上流の遊歩道整備や新河岸川観光舟運の課題及び新設船着場整備検討等、

良好な水辺空間の形成を推進している。川を上手に改修、再生して、散策の場だけでなく親水公園等に利用すれば、健康増進にも役立つ。特に新河岸川の水辺再生は、観光ルートに取り込めば観光資源としても活用できる等大変重要である。今後

も積極的に川を生かしたまちづくりを推進したい。川を生かしたマチ



自民ク 吉敷 賢
南古谷駅周辺諸問題の解決

5

問 南古谷駅周辺の諸問題解決に向けた今後の進め方について、市はどのような考え方を持っているのか。

答市長 南古谷駅周辺では北口開設、踏切改良、道路問題等の様々な問題があり、以前より住民要望があることを重々承知している。最近では大型商業施設ができ、住宅の建設が増えている中で、

この問題状況もさらに切実になっている。今後の整備方向は費用面、地域実情等を考慮し、総合的かつ慎重に検討したい。現在、駅改良には自治

体が費用の大部分を負担する必要はあるが、鉄道事業者が中心となる駅整備の可能性も考えている。南古谷駅周辺の諸問題南古谷出張所、公民館タウンミーティング



啓政会 山口 智也
なぐわし公園の進捗状況

6

問 仮称川越市新清掃センター新築工事も順調に進み、来年三月完成予定だが、同施設の余熱利用施設「なぐわし公園」の温水プール等の進捗状況は。

答 園温水利用型健康運動施設基本計画」を策定した。また、本事業を整備するにあたり本市「PFI活用に関する基本指針」に基づき平成二十年度に

答 都市計画部長 平成十九年十一月本公園の基本的な方針である「なぐわし公園基本計画」を策定し、翌二十年九月には都市計画決定を行い、同年十一月には「なぐわし公

園」を策定し、PFI手法により推進する方向性がまとまったところである。
問 なぐわし公園整備
答 市道五一八七号線整備



民主党 片野 広隆
頑張る父子家庭へ支援を！

7

問 生活に困窮するひとり親家庭でも母子と父子では行政支援に格差がある。父子家庭に対しても児童扶養手当と同様の支援制度の実施を市長に問う。

答 市長 経済的に困窮する父子家庭に対し、児童扶養手当と同様の手当の支給や、父子家庭に着目した手当を独自に支給する自治体が、全国的に増えてきていることは承知

している。国においても児童扶養手当が父子家庭には一律に適用除外されていることが取り上げられ、関係閣僚が見直す必要があるのではないかと答弁していると伺っている。今後、本市としても国の動向も見据えながら、父子家庭に対する独自の支援策について検討する必要があると考える。
問 ひとり親家庭への支援

特別養護老人ホームへの入居希望待機者は七百三十余名程といわれるが、第四期介護保険事業計画における市の施設整備の取り組みは、いかがか。

答 福祉部長 特別養護老人ホームの整備は平成二十二年に五十床増、二十三年に九十床新設と五十床増、介護老人保健施設は平成二十三年に百床新設を計画している。



公明党 大泉 一夫
川越市のマスコット選定を

8

問 川越市は今「つばさ」効果で全国的な知名度が上っている。今こそ市民等から市のキャラクターを公募して選定すべきと思うが市の見解を伺う。

答 産業観光部長 マスコットを公募し選定することにより関心が高まる上、市民参加という点からも様々な効果が期待できる。今後、広報紙やホームページ等でマスコットキャラ

問 特別養護老人ホームへの入居希望待機者は七百三十余名程といわれるが、第四期介護保険事業計画における市の施設整備の取り組みは、いかがか。

答 福祉部長 特別養護老人ホームの整備は平成二十二年に五十床増、二十三年に九十床新設と五十床増、介護老人保健施設は平成二十三年に百床新設を計画している。

ラクターを一般公募したい。その上で、必要であればデザイン的にも修正しながら着ぐるみを製作したい。また、その他の活用法として、一定の手続きは必要だが、マスコットキャラクターを商品包装紙等に広く利用して頂きたいと考えている。
問 中核市移行の検証
答 市のマスコットの選定
問 視覚障がい者支援策

施設サービス必要量確保に向け特養の新設は新たな事業者参入も考慮し、事業者を公募し、増床整備は市内既存事業者のサービス提供拡大を求め、計画的整備を図りたい。介護老人保健施設整備も事業者を公募し、開設許可権限を持つ県と調整し整備を進めて参りたい。
問 介護保険施設の充実
答 観光案内所



やまぶき同志会 若海 保
学校給食の現状と課題

10

問 食物アレルギー疾患を抱える児童・生徒と保護者の「友達と一緒に学校給食を食べたい」という思いを受けとめ、可能な対応を進めるべきでは。

答 学校教育部長 学校給食の時間はみんなと楽しく食事をする時間であり、学校生活の中でも記憶に残る楽しい時間であってほしいと考えている。共同調理場でアレルギー対応

問 川越第二産業団地の工場建設が九月より始まる。周辺地域の生活環境に大きな影響を及ぼすことになるが、この点について今後の整備計画を伺う。

答 都市計画部長 仮称川越東環状線については国道二五四号との交差点を改良した。現在はこの整備地点から川越工業団地までを二車線に拡幅中である。更に、東環状線

の終点となる古谷上の国道一六号との交差点でも外環状線とスムーズに交差させるため、国や県と外環状線のルート変更を含めて検討している。
問 産業団地の雨水排水を

放流する古川排水路の水流の悪さを改善すべく、放流部の上流を浚渫したが、今年度には下流側も浚渫すると聞いている。
問 第二産業団地の諸課題



やまぶき同志会 江田 肇
仮川越東環状線等整備計画

11



市
フォーラム 牛窪 多喜男

障害者就労支援、雇用安定

12

問 障害の特性に関する正しい理解や障害者権利条約に規定されている合理的配慮で、障害者の就労が大きく前進すると思うが、市はどう取り組むか。

答 副市長 障害者の就労が進んでいない現状では、障害者や障害の特性に関する理解が不十分であったり、障害者が仕事をすすんで様々なバリアーがあつたりする。障害者や

障害の特性に関する理解を深め、合理的配慮でバリアーを取り除けば、障害者の就労が促進されると考える。今後、条約批准に向けた国の動きを注視しつつ、障害者や障害の特性に関する理解を深めることや合理的配慮の理解を進め、チャレンジ雇用を含め、障害者の就労が進むよう考えたい。

障害者の就労支援等



公明党 桐野 忠

歴史まちづくり法の活用

13

問 市内歴史的風致維持を向上させる為、歴史まちづくり法を活用し、国庫補助を受け、細かく整備すべきと考えるが、市は今後どう進めるのか。

答 都市計画部長 これまでも本市では文化財の保存や歴史的環境の整備等に取り組み、歴史的文化都市、観光都市として全国的に注目を集めてきた。歴史的風致の維持向上の

ための総合的な支援事業をもつ「歴史まちづくり法」制定は、大変意義深いと考えている。今後は先進市の事例を調査、研究すると共に、関連事業が多岐にわたることから、関係課との連携を強化し、歴史的風致維持向上計画の策定に向けて積極的に検討を重ねていきたい。

市民の健康を守る施策
歴史的風致維持の向上



公明党 若狭 みどり

明るく安全な新しい児童園

14

問 あけぼの・ひかり児童園は、建物の狭隘化をはじめ課題が多く、利用者に苦勞をかけている。視察後の市長の両施設に対する今後の考えを伺う。

答 市長 障害を持つお子さんの保護者は精神面、経済面で大きな負担を抱えている。少しでもこの負担を軽減させることは行政の重要な役割である。両施設は昭和五十八年度

新設で、機能訓練等利用者が増え、徐々に狭隘化が進み、十分な訓練が受けられないとの意見もある。過去にはひかり児童園の認可化やサービスマの請願もあり、今後、利用者の要望を踏まえ、引き続き早期の整備に向け検討を進めたい。

経費削減と環境対策
市立診療所
あけぼの・ひかり



公明党 石川 隆二

コールセンターの設置を

15

問 市民からの電話などの問い合わせに対して、オペレーターが一括して対応するコールセンターを開設し、市民対応の改善と業務効率化を高めよ。

答 総合政策部長 定額給付金給付事業でコールセンターを設置した際、休日等を含む数多くの問合せに迅速に対応し、オペレーターへの対応への苦情も少なかったことから市

民サービスマス向上と事務の効率化に一定の成果があつたと考える。自治体業務全般に関わる諸手続や諸制度への対応を目的として、中核市等で設置が進んでいる状況でもあり、他市の効果や課題を更に研究し、本市に合うコールセンターの設置が可能か検討していきたい。

市民サービスの向上
川越駅南大塚線の進捗



市
フォーラム 高橋 剛

小6への少人数数学級の実施

16

問 中学での学校生活や学習の基礎を築く小学6年時の一年間はとても重要だ。より行き届いた教育が行えるよう少人数数学級を実施すべきではないか。

答 学校教育部長 小学校の高学年においては、各学級で学習面や生活面、人間関係づくりに対して、個別指導や配慮を要する児童が増加しており、中1ギャップを解消するた

めにも、小学校6学年に對して、人的配置が必要であると考えている。今後、教育委員会としても、一人一人に應じたきめ細かな指導ができるよう、少人数学級編制の拡大も視野に入れ検討し、効果的な少人数指導の充実に努めてまいりたいと考えている。

川越市の平和施策
一貫教育と教育環境



無所属 川口 啓介

学校教育の中の平和学習

17

問 私が実施したアンケートでは、社会科の歴史の授業の中で、昭和以降の時代の授業スピードが早くなる傾向が見られた。学習が不十分ではないか。

答 学校教育部長 川口議員が実施したアンケート結果についてだが、歴史の学習ではこの時代の学習が不十分ではないかという結果であつたかと思う。

学校の教育活動は、学校・地域や児童生徒の実態等を踏まえて作成した指導計画に基づき実施している。アンケートでご指摘いただいたことも参考に、各学校での適切な指導計画の作成や指導方法の改善等について、学校訪問等とおして指導していきたいと考えている。

川越市の平和施策



啓政会 荻窪 一郎 18
本庁管内に地域活動拠点を

問 川越市には、出張所管内十一の全支会にそれぞれ公民館等の活動拠があるが、本庁管内十一の各支会にも要望すれば拠点を作れるか伺いたい。

答 市長 地域活動の推進やその活動のための施設の充実に関しては、まちづくりの中で重要な施策だと認識している。しかし、本庁管内の各支会それぞれに、新たに一箇所

ずつの活動拠点を整備するとすると、新築をする場合にも借用する場合にも、費用や場所の選定などの点で、様々な課題が考えられる。このようなことから、この件については、地域活動を推進していく上での課題の一つと認識して、今後の研究課題とさせて頂きたいと考えている。

問 高齢社会の地域活動



啓政会 松井 釜太郎 19
新斎場建設の市長の考え方

問 市長は選挙公約で新斎場の建設をうたっているが、今後の建設に関する市長の考え方について伺いたい。

答 市長 各地区でのタウンミーティングでも、市民の方から新斎場建設に関する声を度々頂いている。進んでいく高齢化社会の中で、現状の火葬炉だけでは不十分になることは明らかであり、現在

の斎場は老朽化も著しく、告別室がないことや、収骨室が個室化されていないなど、機能面でも課題がある。新斎場建設には、様々な課題もあり、時間もかかるが、できる限り速やかに建設する考えでいる。また、広域斎場の考え方については、様々な意見を頂戴しながら慎重に検討してまいりたい。

問 新斎場の建設



民主党 山木 綾子 20
24期、48年は長すぎないか

問 長期任期や兼職を防ぐためにも審議会等のデータ管理を一元化し、兼職できる審議会等の数や任期にも制限を設ける必要があるのではないか。

答 市長 できるだけ多くの階層、広い分野から委員を選出することが望ましいと考え、公募枠の設定や市内連携大学への推薦依頼等、選任に工夫を凝らしているが、事業分

野によっては特定団体への推薦依頼や特定個人への就任依頼等の偏りが出てしまいがちなのも事実である。今後は一人の委員の複数委員就任や就任し続けられる期数のチェックが可能となる管理データを作成して活用できるように、早急に事務を進めさせたいと考えている。

問 女性の登用
問 各種審議会



公明党 清水 京子 21
各家庭に防災器具の支援を

問 家庭における家具等の転倒防止器具や、家庭用火災警報器等の設置についての支援をお願いしたいと思うが、それに対する市の考えを伺う。

答 市長 地震や火災に備えて家具の転倒防止措置や住宅用火災警報器を設置することは、災害対策として大変意義があると考える。現在、一定の高齢者や重度障害者の方へ

の購入支援はあるが、その他の方には支援等は無いのが現状である。しかし、高齢者や障害者世帯で、自ら家具等の転倒防止器具等の取り付けができない方もいるので、今後どのような支援ができるか検討したい。

問 配食サービス
問 保育園待機児童の対応
問 生活保護世帯への対応
問 防災対策



公明党 小ノ澤 哲也 22
高齢者の肺炎予防対策

問 予防医学そして健康増進の観点から、高齢者が重症化しやすい肺炎を予防するため、肺炎球菌ワクチンの公費助成に對する市長の考えを伺いたい。

答 ※市長 肺炎球菌ワクチンの公費助成の目的と背景は高齢化率が高く、高齢者の肺炎による死亡が多いことから、高齢者の肺炎を予防し医療費の削減を図ることである。

肺炎球菌ワクチンは、全ての肺炎を予防するものではないが、予防効果が期待できる。今後、肺炎球菌ワクチンに関する国の情報等や既に助成をしている他の自治体の医療費抑制の効果等を見極め、公費助成の財政面の課題等について更に研究をしていきたい。

問 介護予防
問 肺炎球菌ワクチン



公明党 近藤 芳宏 23
新河岸駅周辺の整備

問 高階まちづくりの事業推進の中で、喫緊の課題である新河岸駅周辺の整備はどのような内容で進めようと考えているか。

答 都市計画部長 安全な通勤通学路や市内循環パスの駅前アクセスを確保して市民生活を向上させる為、二十七年年度を目標に東西の駅前通りや寺尾大仙波線の県道今福木野目線までの三百m区間等、

地区の骨格となる道路の整備を進めたい。また、駅の東西には各三千m程の駅前広場整備を考えている。東西駅前広場を結ぶ自由通路は、整備に向けて東武鉄道と協議中である。今後は関係地権者等と対話を重ね、協働してまちづくりを進めたい。

問 職員の人材育成・活用
問 電子自治体の推進
問 高階まちづくりの推進



早共黨 柿田 有一

給食費の値上げは再考を

24

問 子育ての経済的負担は少子化の要因になる。給食費値上げでなく公費補助や就学援助の拡充などを検討すべきではないか。

答 教育長 経済状況の悪化が市民生活に影響していることは承知しているが、現状では子供達が楽しみにしているお楽しみ給食やリクエスト献立等を実施できず、給食回数も減らさなければならぬ

い。学校給食の食材費は保護者が負担することになっており、安全で安心な給食を実施していくため、給食費改定にご理解

頂きたい。また、経済的問題を抱える保護者には生活保護や就学援助制度の利用を含めた適切な対応や助言をしていきたい。
問 セーフティネット
問 学校給食の諸問題
問 河越館跡の現状と課題



早共黨 本山 修一

川越富士見櫓の復元整備

25

問 富士見櫓の復元、整備は平成二十三年から始まるが、市内外に寄附金の呼びかけを行ってはどうか、見解を問う。

答 都市計画部長 本市では、平成元年十月に初雁公園の整備資金とするため、「川越市初雁公園整備基金条例」を制定し、寄附金等の受け入れ体制を整えている。現在までの基金の積立

額は、約二億七千万円となっている。
今後については、インターネット等を活用することにより、富士見櫓の復元を市内外に広くアピールし、復元のための寄附や募金の受け入れ体制を整えるなど、基金の充実にについて検討してまいりたい。
問 市職員の人事問題
問 歴史的資源の創出活用



早共黨 佐藤 恵士

市長選での卑劣な怪文書

26

問 一月におこなわれた市長選での日本共産党に対する怪文書攻撃にたいしての市長の見解について。

答 市長 今回の市長選挙における怪文書については、各自治会長のところに通送られてきたと記憶しているが、それについての感想は、不愉快の一言に尽きる。怪文書のようなものが出回ること

は、健全な選挙制度を確立する上で、有権者に誤った判断をさせてしまいかねない。このようなことは、民主主義が根幹から揺らいでしまうことになる。従って、選挙の洗礼を受ける者としては、こういう行為には、毅然とした態度で臨んでいかなければならないと思っている。
問 選挙などの「怪文書」
問 高階北小をめぐる問題

市議会を傍聴しませんか



傍聴席は一般・記者席57席、車椅子用1スペースがあります。

本会議の傍聴を希望される方は、市役所七階傍聴受付で、住所・氏名をご記入いただき傍聴できます。(小さなお子様連れ可)
市政を直接知って頂く良い機会です。車椅子用の席もご用意しております。音声が届き取りにくい方にはヘッドホンもご用意します。
傍聴にいらした方の控室として七階第一委員会室をご用意しております。

議会情報



市庁舎建設 特別委員会

平成二十一年第一回定例会で継続審査となっていた『市庁舎建設にかかわる諸問題について』

一 付議事件

- 一、現市庁舎の現状について
- 二、市庁舎の機能について
- 三、市庁舎の建設位置と周辺対策について
- 四、市庁舎建設事業にかかわる経費について
- 五、その他

今定例会開会日に委員長報告を行い、特別委員会の審査を終了と決定しました。
市執行部においては、以上のことを踏まえ、市庁舎のあり方を検討されるよう望むものである。

先進都市を視察

〈行政視察〉
平成20年8月5日～7日
横浜・岩国・北九州市
平成20年11月10日
福生・所沢市
平成21年2月10日
東久留米市

《委員会報告 抜粋》

本特別委員会は、十回にわたり委員会審査及び行政視察を重ねて来たが、新市長の市政方針の中で示された市庁舎移転は白紙の方針を踏まえ、また、一定の成果が得られたので、以下の事項をまとめとし、審査終了とした。

厚生常任委員会

平成二十一年第一回定例会で継続審査となった「後期高齢者医療制度の中止、廃止を求める意見書の提出を求める請願書」を四月二十三日に審査し、不採択と決定しました。

決議

▽ 朝鮮民主主義人民共和国の核実験に抗議する決議 — 原案可決 —

朝鮮民主主義人民共和国（以下「共和国」という。）は五月二十五日、核実験を強行した。これは、共和国に対して「いかなる核実験または弾道ミサイルの発射もこれ以上実施しないこと」と要求した国連安保理決議一七二八（二〇〇六年十月十四日）、「一切の核兵器及び現在の核計画を放棄」と合意した六カ国協議共同声明（二〇〇五年九月十九日）にも明確に違反する暴挙である。

共和国のロケット発射を非難した四月の国連安保理議長声明が自国の意に沿わないからという理由で、共和国が世界に明らかにしてきた公約を一方的に破棄することは、国際世論に対する挑戦であり、到底許されないとである。

今日、世界の中では、米国のオバマ大統領が「核兵器のない世界」の実現を初めて米国の国家目標にする方針を発表するなど、核兵器廃絶に向かう新たな気運が生まれつつある。こうした時期に行われた今回の核実験は、そうした国際的な動きに対する乱暴な挑戦であり、北東アジアの平和と安定に対する重大な逆流となるものである。

よって本議会は、共和国の核実験強行に厳しく抗議するとともに、これ以上の核実験を厳に慎み、核兵器及び核兵器開発計画を放棄すること、無条件に六カ国協議に復帰することを強く求めるものである。

去る四月五日、オバマ米国外大統領は「核兵器のない世界」を追求する決意を表明した。また、国連安全保障理事会も朝鮮民主主義人民共和国の核実験に対し国連安保理決議第一八七四号等で断固たる拒否の姿勢を示した。政府はこの機会を捉え、核兵器廃絶の動き、とりわけ朝鮮民主主義人民共和国の核問題を含む地域の核廃絶への対応を世界的な潮流とすべく努力しなければならない。二〇一〇年核拡散防止条約（NPT）再検討会議において、そのために主導的役割を果たすとともに、核保有国をはじめとする国際社会に働きかけ、包括的核実験禁止条約（CTBT）の早期発効や兵器用核分裂物質生産禁止（カットオフ）条約の推進など、核廃絶・核軍縮・核不拡散に向けた努力を一層強化すべきである。

右、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。
平成二十一年六月二十九日
川越市議会
内閣総理大臣、外務大臣、衆議院議長、参議院議長

意見書

▽ 核兵器廃絶に向けた取り組みの強化を求める意見書 — 原案可決 —

わが国は、唯一の被爆国として、世界の核兵器廃絶に向けて先頭に立って行動する責務がある。他方、冷戦後の現在においても、核兵器のみならず、核爆弾搭載可能なミサイルの開発、核物質や核技術の流出、拡散等の脅威はむしろ高まりつつある。我々はこの現実を重く受け止め、非核保有国等と連携をとり、核保有国の理解を求め、核軍縮・核不拡散の取り組みと実効性ある査察体制の確立を積極的に進めるべきである。

去る四月五日、オバマ米国外大統領は「核兵器のない世界」を追求する決意を表明した。また、国連安全保障理事会も朝鮮民主主義人民共和国の核実験に対し国連安保理決議第一八七四号等で断固たる拒否の姿勢を示した。政府はこの機会を捉え、核兵器廃絶の動き、とりわけ朝鮮民主主義人民共和国の核問題を含む地域の核廃絶への対応を世界的な潮流とすべく努力しなければならない。二〇一〇年核拡散防止条約（NPT）再検討会議において、そのために主導的役割を果たすとともに、核保有国をはじめとする国際社会に働きかけ、包括的核実験禁止条約（CTBT）の早期発効や兵器用核分裂物質生産禁止（カットオフ）条約の推進など、核廃絶・核軍縮・核不拡散に向けた努力を一層強化すべきである。

右、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。
平成二十一年六月二十九日
川越市議会
内閣総理大臣、外務大臣、衆議院議長、参議院議長

広域連合議会議員

▽ 埼玉県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙

広域連合議会議員に一人の欠員が生じたので、県内市議会議員二人から立候補の届出があり、本市議会でも選挙を実施しました。

自民クラブ（四名）
代表 吉敷 賢
関口 勇④
神田 寿雄⑭
加藤 昇⑳

無所属（一名）
川口 啓介⑧

【会派代表者の変更】
次の会派の代表者が変更となりました。
啓政会
会長 山口 肇

会派構成等の変更

▽ 議席の一部変更

会派等構成変更に伴い、議席番号を一部変更しました。

《氏名下〇付数字は変更後の議席番号です。下図の議場概略内の番号をご参照ください。》

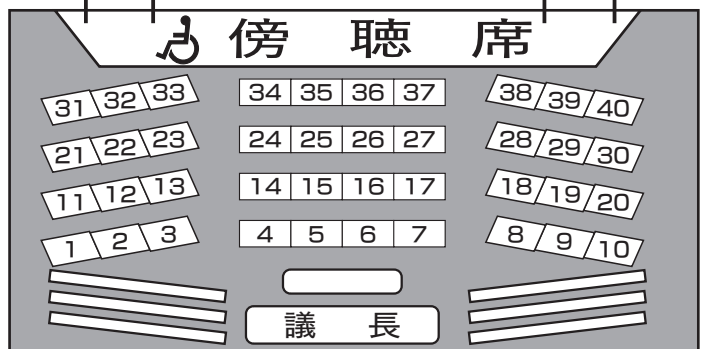
【会派等構成】

新たな会派が結成されました。

スピリット50（二名）
代表 小野澤 康 弘⑩
須賀 博⑨

【所属会派の変更】

無所属の加藤 昇議員が自民クラブに入りました。



常任委員会の構成が かわります。



委員
川口 啓介
無所属



委員
桐野 忠
公明党議員団



副委員長
山木 綾子
民主党議員団



委員長
倉嶋 美恵子
プロジェクト川越21

総務

総合政策部、総務部、財政部、市民部、秘書室、広報室及び会計室並びに選挙管理委員会、公平委員会、監査委員及び固定資産評価審査委員会の所掌に関する事務の調査、審査。



委員
新井 喜一
啓政会



委員
江田 肇
やまぶき同志会



委員
山口 智也
啓政会



委員
神田 寿雄
自民クラブ



委員
牛窪 多喜男
市民フォーラム



委員
川口 知子
日本共産党議員団



委員
若海 保
やまぶき同志会



委員
片野 広隆
民主党議員団



副委員長
高橋 剛
市民フォーラム



委員長
松井 釜太郎
啓政会

文教

教育委員会の所掌に関する事務の調査、審査。



委員
大河内 銜
啓政会



委員
石川 隆二
公明党議員団



委員
吉敷 賢
自民クラブ



委員
佐藤 恵士
日本共産党議員団



委員
石川 智明
プロジェクト川越21



委員
近藤 芳宏
公明党議員団

【常任委員会とは】

地方公共団体の議会が一定の部門の当該地方公共団体の事務に関する調査および議案等の審査を行わせるため、条例で定め、常設する委員会です。

市議会常任委員会委員の任期満了（任期二年）に伴い、川越市議会委員会条例第八条第一項の規定により、各常任委員会（総務・文教・厚生・建設）委員の選任を六月十八日に行いました。翌六月十九日に四常任委員会を開催し、それぞれ正副委員長を互選しました。各常任委員会の構成は以下のとおりです。



委員 柿田 有一
日本共産党議員団



委員 須賀 博
スピリット50



副委員長 大泉 一夫
公明党議員団



委員長 稲浦 敏雄
啓政会



委員 石川 良三郎
啓政会



委員 小林 薫
プロジェクト川越21



委員 清水 京子
公明党議員団



委員 加藤 昇
自民クラブ



委員 荻窪 一郎
啓政会



委員 三上 喜久蔵
やまぶき同志会

厚生

福祉部、保健医療部、環境部及び産業観光部並びに農業委員会の所掌に関する事務の調査、審査。



委員 若狭 みどり
公明党議員団



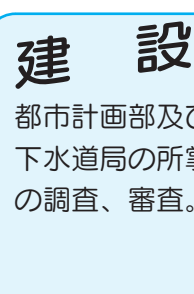
委員 関口 勇
自民クラブ



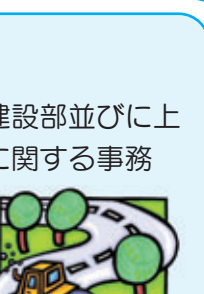
副委員長 小野澤 康弘
スピリット50



委員長 小ノ澤 哲也
公明党議員団



委員 本山 修一
日本共産党議員団



委員 吉田 光雄
啓政会

建設

都市計画部及び建設部並びに上下水道局の所掌に関する事務の調査、審査。



委員 久保 啓一
啓政会



委員 中原 秀久
プロジェクト川越21



委員 山口 肇
啓政会



委員 新井 金作
やまぶき同志会



委員 本山 修一
日本共産党議員団



委員 吉田 光雄
啓政会

議会構成

議長・副議長

六月五日に市議会議長・副議長の辞職が許可されたことに伴い、正副議長選挙を行いました。

▽ 川越市議会議長の辞職

石川隆二議長の辞職を許可しました。

▽ 川越市議会議長選挙

中原秀久議員が議長に就任しました。



議長 中原秀久

経歴：昭和62年に市議会議員に初当選し、今期が5期目となります。現在までに市議会副議長、総務常任委員長等を歴任しています。

副議長 新井金作

経歴：平成11年に市議会議員に初当選し、今期が3期目となります。現在までに厚生常任委員長等を歴任しています。



▽ 川越市議会副議長の辞職

吉田光雄副議長の辞職を許可しました。

▽ 川越市議会副議長選挙

新井金作議員が副議長に就任しました。

議会運営委員会

▽ 川越市議会委員会条例の一部を改正する条例

例 ― 原案可決

議会運営委員会委員の定数を十二名とします。

▽ 川越市議会運営委員会委員の選任

構成は次のとおりです。

委員長 小林 薫

副委員長 小野澤康弘

委員 片野 広隆

高橋 剛

三上喜久蔵

大泉 一夫

近藤 芳宏

荻窪 一郎

本山 修一

加藤 昇

松井釜太郎

新井 喜一

四常任委員会

▽ 川越市議会常任委員会委員の選任

構成は(10)・(11)ページをご覧ください。

消防組合議会議員

▽ 川越地区消防組合議会議員の選挙

次の議員が当選しました。

片野 広隆

柿田 有一

牛窪多喜男

三上喜久蔵

荻窪 一郎

小ノ澤哲也

山口 肇

吉敷 賢

石川 隆二

新井 喜一

農業委員会委員

▽ 農業委員会等に関する法律第十二条第二号の規定による選任委員の推薦

次の議員が被推薦者として当選しました。

川口 知子

小林 薫

石川 隆二

久保 啓一

川口 知子

図書室委員会

構成は次のとおりです。

委員長 三上喜久蔵

副委員長 石川 智明

委員 片野 広隆

若狭みどり

川口 啓介

須賀 博

広報紙編集委員会

構成は次のとおりです。

委員長 倉嶋美恵子

副委員長 高橋 剛

委員 山木 綾子

関口 勇

若海 保

若狭みどり

川口 啓介

小野澤康弘

柿田 有一

吉田 光雄

六月五日に議場コンサートを開催しました。埼玉県合唱祭、川越市合唱祭への参加や施設を訪問しボランティア活動をしている女声合唱団の「コール萌」により、ベートーヴェン作曲「よみびの歌」他二曲が演奏されました。



編集後記

このたび、新しい委員編成で編集委員会が出発しました。今回、表紙の定例会の経過・議決結果一覧表も見やすくなったかと思えます。前二年間の紙面改善の取組みを更に充実、市民の皆様に関わりやすく読みやすい「市議会だより」を目指して、真剣な議論を重ねてまいります。



発行 川越市議会
編集 川越市議会広報紙
編集委員会
電話 〇四九―三四―六六七